

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【新和小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の国語と算数の「知識・技能」に関わる領域において、R4年度の自校結果より2pt向上させる。	⇒ 「ドリルパーク」「スタディサプリ」等を授業や朝時間に積極的に活用し、反復・習熟を行う。その際児童の学習履歴を確認し、毎週木曜日に個別に学習計画を立てる時間を設定する。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語と算数の「思考・判断・表現」をR4年度の自校結果より2pt向上させる。	⇒ ミライシードのオクリンクやムーブノートを活用し思考を可視化して表現し、考えを伝え合うことで、較・検討する協働的な学びの場を設定する。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合をR4年度の値より4pt向上させる。	⇒ 全ての授業において、児童とともに必要感のある課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自己解決する場を設定する。また、授業後に振り返りを実施し、主体に学ぶ態度を育てていく。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当)	
思考・判断・表現	③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国算数+10ptであった。国語では原因と結果など情報と情報との関係を読み取ること、算数では何かを理解することに苦手な傾向が見られた。「スタディサプリ」や「ドリルパーク」の問題にふれるとともに、学んだことが確実に身につくよう反復・習熟を行う。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較+5pt、算数+15ptであった。情報量の多い問題から必要な情報を読み取り要約すること、グラフから読み取ったことを言葉と文字を用いて記述することに苦手な傾向が見られた。複数の必要な情報を集める活動を授業に取り入れ、知識と結びつけて問題を解く経験を積ませている。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいまいにおいて肯定的回答が97.2%であった。今後も児童が主体的に学ぶことができるよう、日々大切にしてい

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒
思考・判断・表現	変更なし	⇒
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒

目的
、比
題的

語+1pt、
は問われ
り等で多
し、国語
複数のグ
の資料から
く。
したか。」
の授業を